



(金沢)

## 石川・下堤・青草町遺跡

しもつみ  
あおくさまち

- 1 所在地 石川県金沢市下堤町・青草町
- 2 調査期間 二〇〇五年（平成17年）七月～一〇月
- 3 発掘機関 金沢市埋蔵文化財センター
- 4 調査担当者 谷口明伸
- 5 遺跡の種類 城下町跡
- 6 遺跡の年代 近世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

下堤・青草町遺跡は、金沢市の中心部に位置する。調査は当該地区の再開発事業に伴うもので、調査面積は約三八五m<sup>2</sup>である。

調査地は金沢城の周囲を

めぐる東内物構堀の外縁に

隣接し、城下を通る近世北

国街道に面する町屋及び門

前地にあたる。

検出した遺構には、井

戸・土坑・石列などがあり、

下堤町地区で検出した石列は町屋の敷地境界の可能性

がある。土坑は廃棄物を投棄したゴミ穴が多く、中には火災後の廃棄物を集中投棄したものもある。

木簡は、ゴミ穴とみられる土坑SK-107より一点が出土した。SK-107は、径約2m深さ約1mのほぼ円形の土坑で、前述した敷地境界と考えられる石列の西に接する。共伴遺物は一八世紀のものが主体であるが、一七世紀のものも一定量出土している。

### 8 木簡の积文・内容

(1) □ 金屋四郎左□□〔衛門カ〕

165×(17)×6 081

上下両端は原形をとどめるが、左右両辺は欠損している。右寄りに人名を墨書し、その上部に墨点を記す。文化・文政年間（一八〇四～一八三〇）の町絵図には、調査区が位置する袋町内に「金屋専次郎」の名が見え、関連性が注目される。

（谷口明伸）

